

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

6月に宇久井半島で見られるなかまたち！



「タテハチョウ科 イシガケチョウ」
ひらひらと紙切れが舞うように飛び、翅を開いて止まることが多い。幼虫はイヌビワの葉を食べる。



「アゲハチョウ科 モンキアゲハ」
日本最大級のチョウで後翅に黄白色の斑紋がある。幼虫はカラズザンショウの葉を食べる。



「アゲハチョウ科 アオスジアゲハ」
飛翔力が高く速いスピードで樹木や花のまわりを飛び回る。幼虫はクスノキ科の葉を食べる。



「ミツバチ科 コマルハナバチの働きバチ」
全体的に黒色でお尻だけ橙色。ぶんぶん大きな羽音がするが、性格はおとなしく不意に刺すことはない。



☆「カタバミ科 ムラサキカタバミ」☆
南アメリカ原産の帰化植物で要注意外来生物に指定されている。結実せず鱗茎（球根）で増える。



☆「アヤメ科 ニワゼキショウ」☆
北アメリカ原産の帰化植物。道端や芝生に生える。花には紅紫色と白色のタイプがある。



☆「ドクダミ科 ドクダミ」☆
生薬として10種類の薬効を有していることから十薬（じゅうやく）とも言われている。



☆「キク科 ヒメジョオン」☆
北アメリカ原産の帰化植物。種子の寿命が35年と長く驚異的な繁殖能力を持っている。



「キシメジ科 シイノトモシビタケ」
シイの朽木に生息する光るキノコ。かさの直径は約1~3cm。自然塾では毎週土日に見学会を行っている。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪

ようこそ！ 吉野熊野国立公園 宇久井ビジターセンターへ！
まもなく梅雨入りの時期ですが、新緑の木々が生き生きしていますよ♪
鳥、昆虫、植物たちの活動を観察しにお越し下さいね！

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2020年6月前半号



吉野熊野国立公園 宇久井半島見どころマップ 夏版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

赤灯台

地玉(じこく)の浜

駒ヶ崎灯台

千尋の浜 (上地の浜)

外の取

松尾展望広場



凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段



上野展望台

ビジターセンター

南紀勝浦 休暇村

マルバウツギ

オガタマノキ

蛙子神社跡地

ヤブツバキ

ハセノキ

ヒサカキ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

タブノキ

モチツツジ

ヤブツバキ

ヤマモモ

至休暇村

トベラ

アキグミ

ヤブツバキ

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマメ

トベラ

シロダモ

イヌビワ

ヤブツバキ

ヤブツバキ